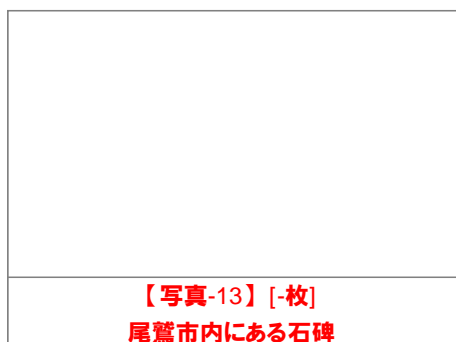


3.2 小学校中学年 (6)

III 地域の津波被害を考える 「過去の津波被害を知ろう」	
指導する学年	小学校4年生
指導する時間 (時数)	特別活動・学級活動(1時間)
教育目標	東紀州における津波の歴史と津波の被害について調べ、進んで避難しようとする態度を育てる。
資料する資料	【写真-01】1944年昭和東南海地震津波による尾鷲市の被害 【写真-13】尾鷲市内にある石碑 【資料-07】尾鷲市の過去の地震・津波被害 【資料-08】今後30年間の地震発生確率
関連する 教科・行事等	【小3社会科】1 ◎もっといろいろ知りたいね 1 学校のまわり

【導入】-----

(1) 津波に関する石碑の写真を見て、これらを見たことがあるかを話し合う。



→津波が襲来した際に、身を守るためには何をしたらよいかを考える

(2) 学習課題を把握する。

【展開】

- (1) 津波の歴史年表を見て、過去に襲来した津波について調べ、気付いたことを発表する。
 →三重県に襲来した津波をピックアップしてみる
 →津波はどれくらいの間隔でやってきているのか、津波による被害者はどれくらいかなどをおさえる

●尾鷲市における主な津波災害

尾鷲市においては、昭和半葉に3回、津波による大きな被害を受けました。特に昭和19年12月7日に発生した東南海地震による津波の被害が大きく、死者・行方不明者45人、倒壊した家屋118棟、全壊・半壊家屋1,233棟、浸水家屋2,217棟に達しました。この時の津波の最高は、最大で6mにもなりました。

津波	発生年月日	発生した地震	津波の規模	被害状況	死者・行方不明者	倒壊した家屋	全壊・半壊家屋	浸水家屋
東南海地震津波	昭和19年12月7日	M8.1	約11m	1,978棟	45人	118棟	1,233棟	2,217棟
東海地震津波	昭和21年12月21日	M7.5	約4m	24棟	0人	0棟	0棟	24棟
予知津波津波	昭和29年8月23日	不明	約4m	0棟	0人	0棟	118棟	700棟

【資料-07】 [2枚]
尾鷲市の過去の地震・津波被害

- (2) 過去の津波によって被災した尾鷲市の様子を確認する。
 →津波が来ると街は壊滅的な被害を受けてしまうことを確認する

【写真-01】 [17枚] 1944年
昭和東南海地震津波による尾鷲市の被害

- (3) 今後、尾鷲市に被害が生じると予測されている地震・津波の発生確率を確認する。
 →近い将来、避難を必要とするような津波が襲来する可能性が高いことを知り、避難しなければならないことをおさえる

海溝型地震の長期評価(今後30年以内)
2003年発表

北海道北西沖 M7.8程度 0.006~0.1%
 秋田県沖 M7.5程度 3%程度
 佐渡島北方沖 M7.8程度 3~5%
 安芸灘~伊予灘~豊後水道 M7.6前後 40%程度
 日向灘 M7.6前後 10%
 東海地震 M8.0程度 いつ起きてもおかしくない
 東南海地震 M8.1前後 30%
 相模湾 M7.9程度 30~40%
 相模湾・十勝沖 M7.1程度 80%
 三陸中北部 M8.0前後 0.06~8%
 M7.1~7.6 90%程度
 宮城沖 M7.5前後 99%
 茨城沖 M6.8前後 90%
 三陸沖~房総沖(海溝部) M6.2程度 20%程度

【資料-08】 [3枚]
今後30年間の地震発生確率

【まとめ】

- (1) 学習して気付いたことをプリント等に記入する。
- (2) 感想等を発表し、今日の学習をまとめる。
 →近い将来、避難を必要とするような津波が襲来する可能性が高いことを知り、避難しなければならないことをおさえる

【確認】

- (1) 東紀州における津波の歴史と被害について知ることができたか？
- (2) 今後発生が予想されている地震・津波を知り、進んで避難しようという態度をもつことができたか？